

同じ釜の飯を食う

教育相談専門員 沼波かおり

27歳のとき、自動車免許教習所に通った。高校時代のスポーツテストは判定不能。人並みはずれた運動神経をもつ私は、時間もお金もめっちゃくちゃ費やした。当時の教官はサービス精神で満ち溢れている人ばかりではなく、もたもたしていると叱り飛ばされ、ものすごい勢いでブレーキを踏まれ、つんのめるといったこともあった。とくに厳しいと評判の教官がいて、同じ時期に入校した仲間たちと、どうしたら怒鳴られずにすむか、どこに気をつけたらいいか、よく対策を話し合ったものだ。

このときの「仲間」にはさまざまな人がいた。筆記試験が苦手な男子大学生、毎日高級外車で運転手に送られてくるとこかの奥様、年配の穏やかな男性etc…。名前も職業も何も知らない、教習所に入校しなかったら一生出会うことのない人たちだ。それでもみな目指すものが同じなので、失敗すると誰かが励ましてくれ、うまくいけば我が事のように喜んでくれ、苦楽を共にしているという不思議な感覚があった。

案の定、私が同期のみんなの卒業を見送り、一人残された。夏に入校し、秋が過ぎ、いつしか冬も深まっていた。私の最後の指導教官は、物静かであまり表情を変えないタイプの人だったが、「あなたは車の運転が向いてない人そうですね」と何度も免許をあきらめるよう助言してくれた。けれど使った費用を思うと、今さら辞めるに辞められない状況になっていった。落ちるたびに大きなため息をつくの教官だった。何度目かの検定でやっと合格し、こんな私でも免許がもらえることになった日、誰よりうれしそうな顔をしたのも教官だった。これまで一度も見たことのない満面の笑みを浮かべていた。こちらは縮こまっていたが、赤の他人と、同じ喜び「やっと終わった！」を分かち合った瞬間だった。

あのときの「仲間」も、苦勞をかめた「教官」も、今となっては顔も名前も思い出せないが、あの苦しい日々を共に乗り切ったという達成感、連帯感が強烈に記憶に残っている。残念ながら、その後完璧なペーパードライバーになってしまったけれど……。

教育相談だよりの5月号にもお知らせしましたが、昨年からは定時制、通制のスクールカウンセラーとして、日・火・木の午後、教育相談室で勤務しています。沼波(ぬなみ)と申します。悩んだり困ったりしたら、ご遠慮なく相談室へどうぞ。一年間よろしくお願ひいたします。

☆ カウンセラーの先生方が来校されます ☆

本校には次のカウンセラーの先生方が毎月来校されます。「辛いけれど、どうしていいかわからない」という人、「よく眠れない」「食欲がない」「体調が良くない」などの症状がある人は、ぜひ先生方に相談してみてください。秘密は守られますので安心してください。

《カウンセラーの先生と6月の相談日》

● 沼波 かおり先生 (本校教育相談専門員)

毎週火曜日、木曜日 午後1時～6時40分

● 堀 智哉先生 (各務原病院 臨床心理士)

毎週月曜日、金曜日 午後7時～9時 (※6月27日(月)は除く)

● 鷲見 栄子先生 (社会福祉士6月10日(金)午後2時～4時)

☆ 生徒のみなさんへ…面談は予約制です。HR担任、教育相談係(教育相談室:本館3階)、養護教諭(保健室:本館1階)の先生方のいずれかに申し込んでください。

★ 保護者の方へ…カウンセラーの先生との面談は、保護者の方のみでも受け付けます。

お申し込みは、定時制教育相談係(長瀬・岩佐・服部)までお願いします。

電話番号は(058)275-7185です。どうぞお気軽に申し込んでください。